

発行日：2025年1月24日

改訂日：2025年5月10日



環境経営レポート（2024年度版）

対象期間：2024年1月～12月

株式会社東和製作所

東京都大田区大森西4-14-11

目次

1. 組織の概要及び対象範囲	3
2. 環境経営方針	4
3. 環境経営目標	5
4. 環境経営計画に基づき実施した取組内容、その結果と評価	6
5. 次年度の取り組み	8
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無	9
7. 代表者による全体評価と見直し・指示	9
8. 環境法令順守状況チェックシート	10

1. 組織の概要及び対象範囲

(1) 会社概要

株式会社東和製作所は昭和13年創業より70年以上にわたり、「マグネットの専門企業」をめざし、独自の技術で永久磁石の加工、販売に携わってきた。

会社名称：株式会社 東和製作所

代表取締役：菅谷 豪洋

所在地：東京都大田区大森西 4-14-11

資本金：1,200万円

創業：昭和13年

環境管理責任者：大野寿男（品質管理課）

連絡先：TEL03-3764-6631 FAX03-3763-8124

(2) 事業活動、対象範囲

①事業活動 永久磁石の設計、加工、製造販売

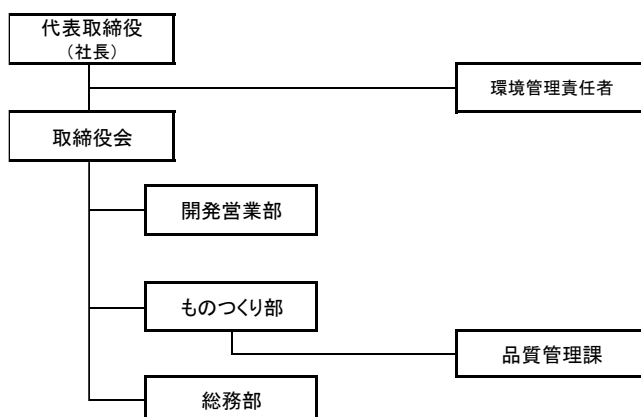
②対象範囲 本社事業所

従業員：23名、敷地面積：710m²、建屋延面積：820.24m²

(3) 組織図（2022/1/7 改訂）

環境経営組織図

株式会社東和製作所



代表取締役

- ・環境経営に関する統括責任
- ・環境管理責任者の任命
- ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知
- ・環境活動の評価と見直し・指示

環境管理責任者

- ・環境経営システムの運営・管理
- ・環境関連法規の情報収集・確認
- ・環境経営レポートの作成
- ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口（顧客からを除く）

開発営業部

- ・顧客との環境関連外部コミュニケーションの窓口

開発営業部、ものづくり部、総務部（全社員）

- ・環境経営方針の理解と環境活動の実施
- ・環境関連法規の順守

2. 環境経営方針

株式会社東和製作所環境経営方針

理念

株式会社東和製作所は、持続可能な社会の発展に向け環境負荷の低減を図ることが
当社のミッションと理解し、行動し、社会的責任を果たす。

方針

1. 株式会社東和製作所は環境マネジメントシステムを構築し、マグネット生産販売活動
における環境経営システムの向上、地球環境の保全、
汚染の予防の継続的改善を推進する。
2. 環境法令および当社が受け入れた利害関係者の要求事項を遵守する。
3. 環境への取り組みの重点分野
 - ① 地球温暖化防止の取組みとして二酸化炭素排出量の削減に努める。
 - ② 製品製造における廃棄物の削減をするとともに、再使用、再利用に努める。
 - ③ 環境負荷物質の廃止、代替に努め化学物質規制へ対応する。
 - ④ 水資源の適正な利用と管理を行う。
4. 社員一人ひとりが、環境活動推進のため環境教育や啓蒙活動を通じて
環境経営活動に参加する。
5. 本方針は全社員に周知するとともに一般に公開する。

2024年 1月 9日

株式会社 東和製作所
代表取締役 菅谷 豪洋

3. 環境経営目標

(1) 中期目標

表 1 による。

表 1 環境関連事項中期計画（2024 年まで）

	2019 年度 (参 考)	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
二酸化炭素 排出量の削減※ 1	排出量 51921kg-CO ₂	2019 年度比 -0.5% (51661) -260kg-CO ₂	2019 年度比 -1.0% (51402) -519kg-CO ₂	2019 年度比 -1.5% (51142) -779kg-CO ₂	2019 年度比 -2.0% (50883) -1038kg-CO ₂	2019 年度比 -2.5% (50623) -1298kg-CO ₂	2024 年度比 -0.25% (42491) -107kg-CO ₂
レアアースメタル 資源の有効利用	マグネット材料 リサイクル	リサイクル向け 保管	リサイクル向け 保管	リサイクル 実施	リサイクル向け 保管	リサイクル向け 保管	リサイクル向け 保管
廃棄物削減 ※ 2	社内不良発生数 26 件/年	社内不良発生件数 25 件/年	社内不良発生件数 22 件/年	社内不良発生件数 120 件/年	社内不良発生件数 119 件/年	社内不良発生件数 118 件/年	社内不良発生件数 108 件/年

※ 1 電力会社による排出係数は年度毎に変更されるが、2021 年度からは 0.447(kg-CO₂/kWh)を適用する

※ 2 廃棄物削減の目標値は 2022 年度から見直し

※ 3 2025 年度の目標は 2025 年度から 2029 年度の中期目標に基づく

(2) 今年度環境経営目標

表 2 による。

ものづくり部の構成

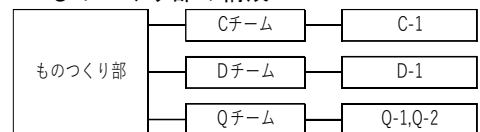


表 2 2024 年度環境経営目標

環境経営目標	計画	担当部署 (下図参照)	実施評価											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12 月
二酸化炭素排出量の削減 排出量 51921 (kg-CO ₂) (2019 年) の -2.5% (50623)	最も負荷が大きく全従業員が 関われる項目である節電活動 節電を意識、不在時の空調停止等	全部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
レアアースメタル資源の有効活用 レアアースメタルのリサイクル定着化	製品使用残の回収 指定容器で回収する 保管済み使用残マグネットを業者 に回収	C-1、D-1 Q-1、Q-2 C-1、D-1 Q-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃棄物削減 不良削減による資源の消費抑制	当年度目標件数以下に抑制する (118 件/年)	Q-1、C-1 D-1、Q-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃棄物削減 梱包材のリユース	①指定品以外は製品出荷時 リユースダンボール箱を使用する	D-1、Q-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃棄物削減 梱包材のリユース	②梱包材の応用 工程内用トレーを出荷品に適用	総務部 D-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消防訓練の実施	当社活動状況の把握	全部門												○

4. 環境経営計画に基づき実施した取組内容、その結果と評価
表3による。

表3 2024年度の環境経営目標に対する結果の詳細

環境経営方針	環境経営目標	計画	結果	評価
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減 2019年度51921kg-CO ₂ の-2.5%	不要な通電の放置削減活動実施 全従業員節電などを意識した業務 不在場所の空調停止など	2024年度：42599kg-CO ₂ であり2019年度比-17.95%で達成。	○
レアアースメタル資源の有効利用 (前回のレポートからの継続)	マグネット材料のリサイクル (マグネットのリサイクル定着化)	製品使用残材の指定容器利用徹底 識別管理 回収時、指定回収業者に依頼	①リサイクル活動は継続運用中。 ②識別、保管及び管理の徹底。 ③マグネット 1,337 kgを 計画外にてリサイクル実施	○
廃棄物の削減-1	不良削減による 資源の消費抑制	発生の抑制：件数による管理 (目標 118 件/年)	年間目標件数に対し5件減 目標を達成できた。(113年)	○
廃棄物の削減-2	梱包材のリユース	従来適用済みの製品は継続 ⇒通い箱、社内トレーの直接出荷 まだ残る消費梱包材を削減	社内用トレーを出荷品に応用し、出荷用で 新たに発生する梱包材の削減運動拡大。	○
教育訓練	消防訓練の実施	当社活動状況の把握	2024年11月に実施	○

計画外の報告事項

水資源の適正利用			従業員が3名増員及び金属加工機械の水 抜きクーラント交換を行ったための水道 使用量が増加(約 1.5 倍)	N/A
----------	--	--	---	-----

排出係数 0.447kg-CO₂/kWh (東京電力エナジーパートナー2021年) を適用

図1 二酸化炭素排出量の推移

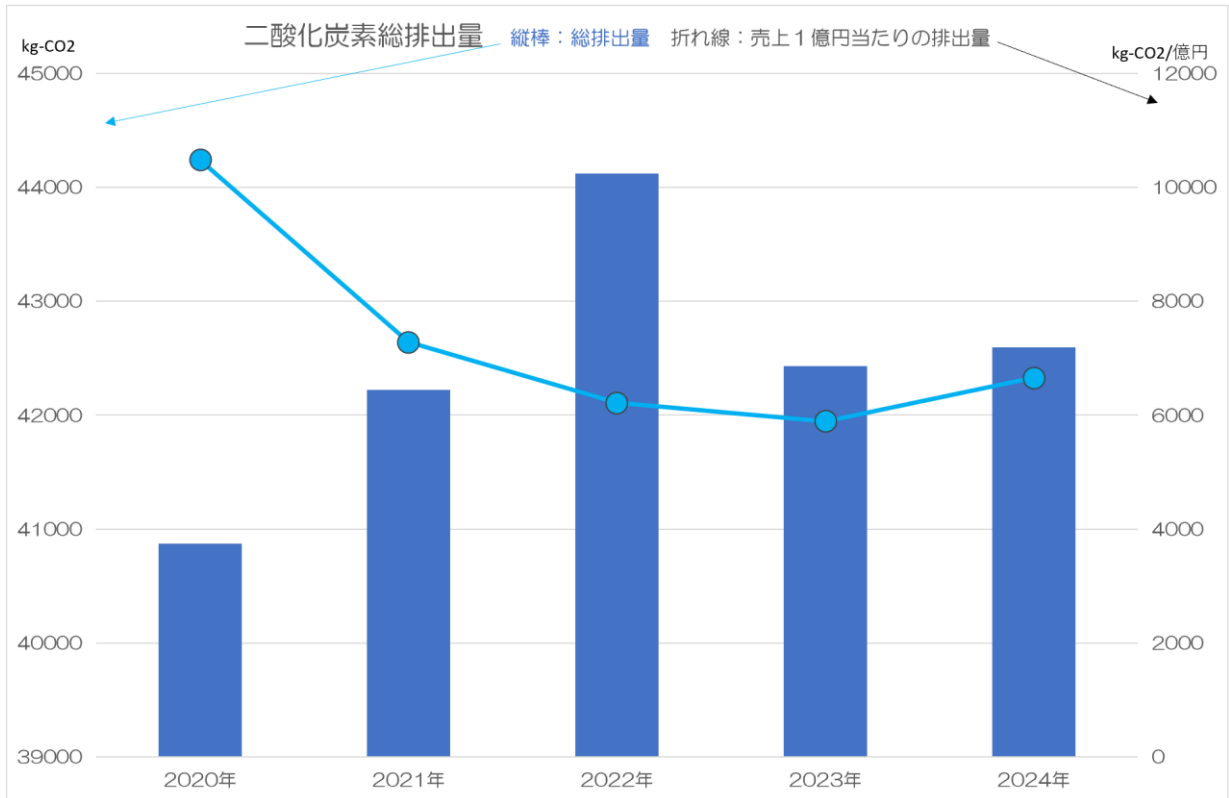


図2 使用電力の推移

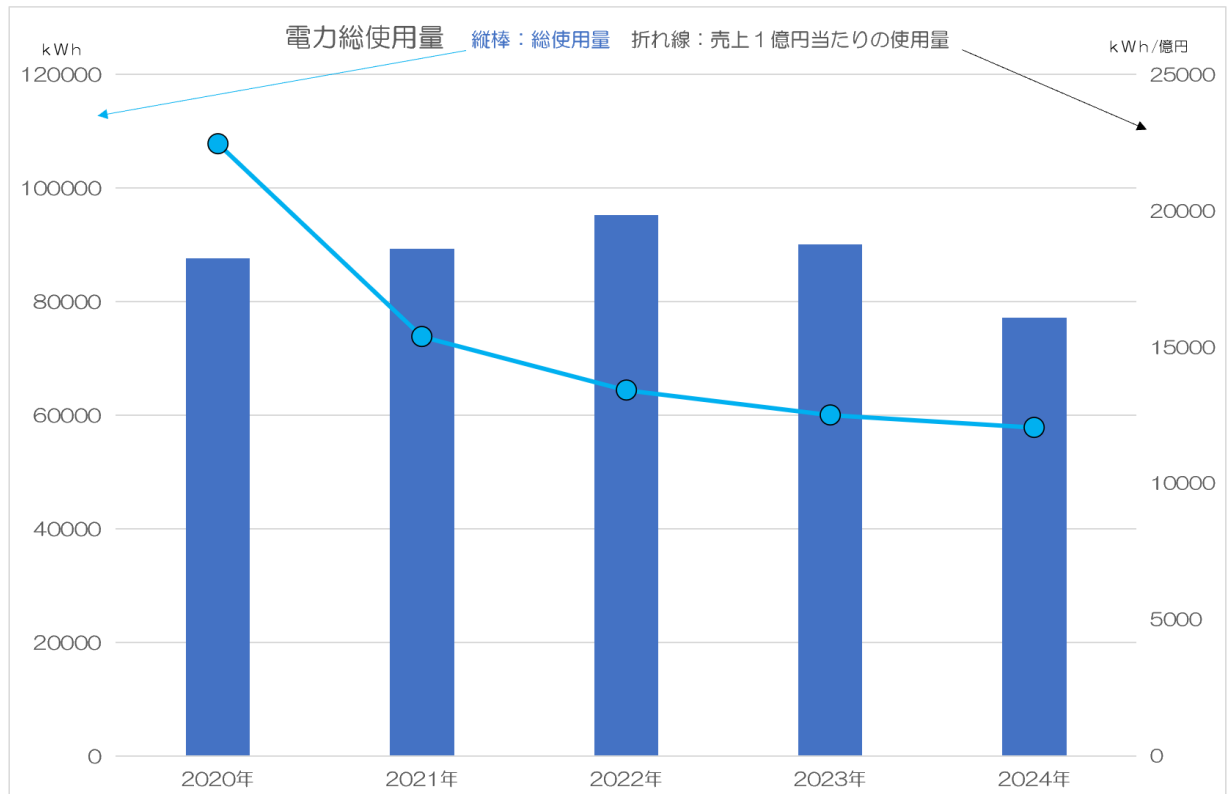
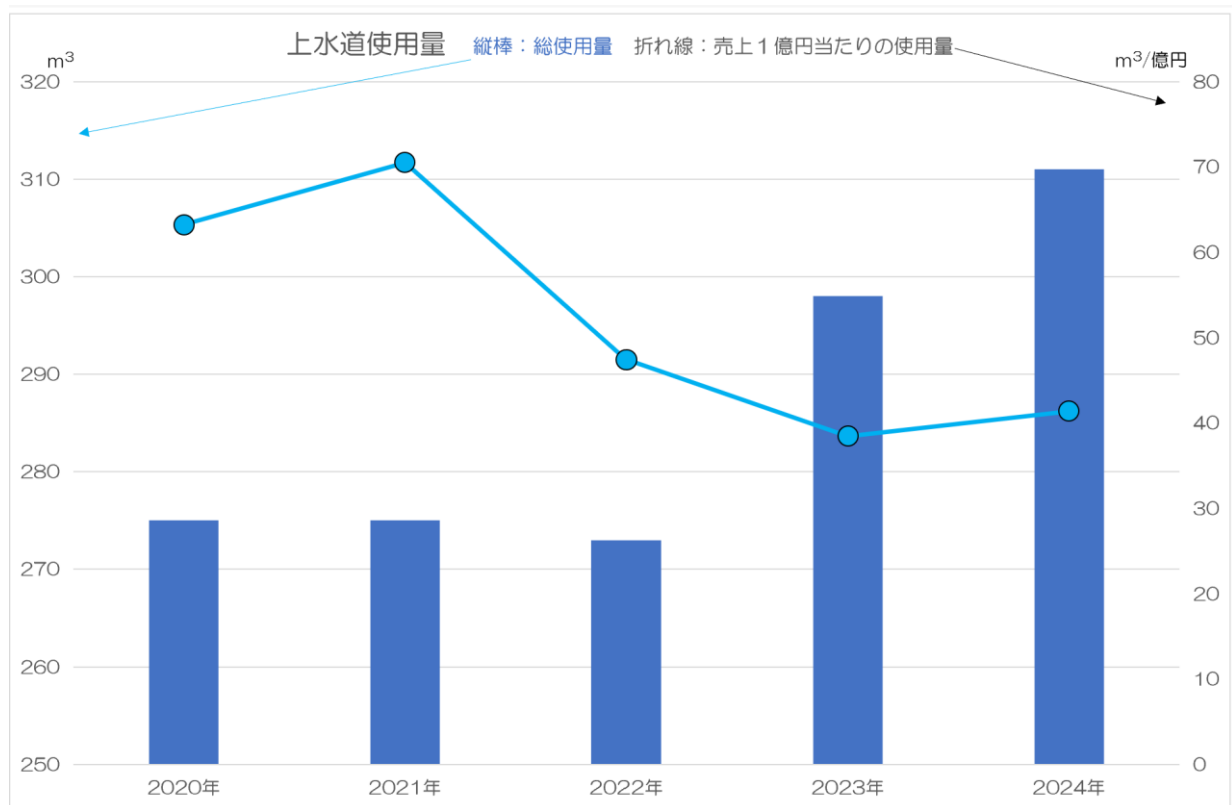


図3 水使用量の推移



5. 2025年度（次年度）の取り組み

2025年度の活動計画は、従来中期計画を基に以下の取り組みを柱とする。

（1）二酸化炭素排出量抑制

作業の効率化で二酸化炭素排出量を 42,598 (kg-CO₂) 以下（2024年度の-0.25%）に抑制する。

（2）廃棄物削減

- ①不良（品）の件数推移を指標にして、「資源のムダ」の削減を図る。
- ②2025年は全体の発生件数抑制、自社工程内での発生で件数を抑制する。
- ③重点項目として不良発生を抑えることを実施する。
 - ・加工班との検査前新規品の内容確認。
 - ・協力会社とのコミュニケーションを実施

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

表5による。

表5 環境関連法規への違反訴訟など

項目	結果
当社の環境活動に関する法令の確認	年1回実施（2024年12月実施済）
環境関連法令に対する違反、不適合	継続して3年以上無し
当社周辺からの苦情、訴訟	継続して3年以上無し

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

表6に評価と見直し・指示に示す。

表6 代表者による評価と見直し・指示

実施日：2025年5月9日

項目	内容
環境経営方針	見直し、指示は特にない
環境経営目標	見直し、指示は特にない
環境経営計画	二酸化炭素排出量の削減に関しては 具体的な施策に乏しいと思われる。 有識者に相談して、項目を記載する又は用意する必要を認める
環境経営システム運用に 関する実施体制	見直し、指示は特にない
環境経営目標の達成状況	水資源の増加が認められたため、その要因を分析し 次年度にわたって監視、改善の必要性を認める
環境経営計画の実施状況	見直し、指示は特にない
環境関連法規などの 遵守状況	見直し、指示は特にない
重要度の高い環境負荷の状 況及び取組みの実施状況	今後も資源循環を通じて、環境活動を継続していくことを確認した

株式会社東和製作所 環境法令順守状況チェックシート

見直し 2024年12月 6日

2024年度

順守評価 2024年12月13日

	適用法令、条例	具体的対象物、事項	項目	要求事項	主担当	チェック
1	都環境確保条例	本社工場内加工機	届出	振動の抑制 加工機は1階に設置 コンクリート床面上	水岡	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
2	消防法	切削粉は切削液等に浸漬	管理	MG加工時の粉塵 発火防止処置	日高	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
	都環境確保条例		管理	MG加工時の粉塵 飛散防止処置	日高	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
3	下水道法	交換時の切削液排水	管理	pH 5.8 ~ 8.6	日高	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
		HYP-R1S、水酸化ナトリウム溶液	回収	洗浄液を回収、漏洩、地下浸透の防止	日高	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
		作業指示指定品以外を扱わない	管理	各物質に対する規制値	日高	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
4	消防法	ラッカーシンナー	保管量	指定数量の1/5以上は届出	川村	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
		I P A	保管場所	保管容器の転倒防止	川村	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
	有機則	アセトン	作業主任者	有資格者の作業主任者を選任	川村	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
		作業主任者 川村	表示	該当物質の掲示	川村	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
	都環境確保条例	(各成分毎で把握)	年間使用量	年間100kgを超える取扱い 報告	中里	☐適合 ☐不適合 ☑該当しない
5	毒劇法 (劇物)	水酸化ナトリウム	表示	白地に医薬用外と劇物を赤で表示する	日高	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
		ラッカーシンナー	保管	施錠できる保管庫	日高	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
		接着剤(該当品)	出納記録	使用量の記録	日高	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
6	労安法	工程の化学物質	保管、掲示	化学物質のSDS保管、掲示	大野	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
7	化審法, RoHS, Reach	製造に関わる材料、部品	設計	法令、規制等に抵触しない物質の選択	大野	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
8	廃棄物処理法	産業廃棄物	契約	運搬業者、処理業者との契約書	大野	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
				契約書に許可証の写し	大野	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
				5年間保管	大野	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
			マニフェスト	廃棄時発行	中里	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
				C、D票6ヶ月以内に回収	中里	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
				5年間保管	中里	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
		産業廃棄物、特管廃棄物	保管場所	飛散・流出・地下浸透・悪臭の無い構造、場所	中里	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
				60X60cm以上の看板掲示	中里	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
			責任者	管理責任者を選任	大野	☐適合 ☐不適合 ☑該当しない
9	フロン排出抑制法	工場のエアコン(業務用)	簡易点検	3ヶ月に1回以上簡易点検実施	中里	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
				点検記録	中里	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
			回収依頼書	廃棄時に回収依頼書発行	中里	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
				3年間保管	中里	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
10	容器包装	ガラス瓶(製容器)	リサイクル排出	法に定める再商品化義務対象の回収 (区、町等の指定による)	弘貴	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
	リサイクル法	ペットボトル			弘貴	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
	資源有効利用	スチール缶、アルミ缶		法の義務対象外で有償・無償で回収 (区、町等の指定による)	弘貴	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
	促進法	段ボール			弘貴	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
11	家電リサイクル法	エアコン(ルームエアコン)	リサイクル手続	不要となったら販売店回収	弘貴	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
	資源有効利用促進法	冷蔵庫(東)庫、洗濯機			弘貴	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
12	小型家電リサイクル法	パソコン本体	対象品リサイクル	不要となったら販売店回収	森永	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
	資源有効利用促進法	その他法令指定品		廃棄せず区指定回収方法	弘貴	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない
13	グリーン購入法	事務用品、消耗品	購入	出来る限り環境対応商品から購入	弘貴	☑適合 ☐不適合 ☐該当しない